

## 各委員の意見概要

意見要旨	主な関係課
<b>基本戦略1 “アジアの日常化”の推進～国際化・アジアとの交流推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民レベルの国際化の推進について、小学校などで外国人を招いた交流活動を、教育の一環として行っていただきたい。</li> <li>・今後増加が見込まれる外国人子弟の受け入れも視野に入れ、小学校、中学校教員を対象とした日本語支援のための講習会などにも取り組んでいただきたい。</li> </ul>	学校教育課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流事業や多文化共生事業の参加者数のうち、技能実習生や特定技能在留外国人の割合はどれくらいか。</li> <li>・今後、日本文化や日本語が詳しくない技能実習生や特定技能在留外国人の増加が見込まれるので、そういった方々を対象とした取組があれば教えていただきたい。</li> </ul>	国際交流課
<b>基本戦略2 アジアの活力を鹿児島へ～アジアからの誘致促進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの国からの旅行者が多いのか、鹿児島市でグラフなどを作成しているようであれば教えていただきたい。</li> <li>・インバウンドが増えたことによる経済への影響や課題などあれば教えていただきたい。</li> </ul>	観光プロモーション課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生に限らず、優秀な人材が県外に流出しており、もっと鹿児島を選んでもらえるような雇用の創出が大切である。</li> </ul>	雇用推進課
<b>基本戦略3 鹿児島からアジアへ～地域産業の海外展開の促進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外展開支援（輸出支援）について、単に各企業への補助金によるサポートのみならず、鹿児島市が中心となり、海外で実施する事業を企画してもよいのではないか。</li> </ul>	産業政策課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のブランクで従来のノウハウが途絶えたり、加速する人手不足等でインバウンドの商機を逃すリスクも懸念されることから、多言語サイト、アプリ開発など企業のDX支援等も検討していただきたい。</li> </ul>	産業支援課
<b>その他</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施に当たっては、事業目的が達成でき、より良い効果が得られるよう情報収集に努め、他団体との連携も視野に入れながら取り組んでいただきたい。</li> </ul>	各課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民相談センター、消防緊急通信、市立病院など、多言語化されていることが外国人住民に認知されていないように思う。環境整備に加え、その広報についても検討していただきたい。</li> <li>・消防等多言語対応されていることの情報をメールや紙媒体で提供するだけでなく、住民に寄り添った形で各地域の説明会などを行うことはできないか。</li> </ul>	各課